

【文化庁カリキュラム準拠授業】

『人と付き合う（自己紹介）』

<教室活動の目標>

- ・ 相手や状況に応じた自己紹介が出来る。

<教室活動のねらい>

- ・ その場にふさわしい自己紹介の仕方を学び実行出来る。

職場での自己紹介

家の近所での自己紹介

- ・ 他の人を紹介する方法を学び実行出来る。

<教室活動の進め方>

1. 最初に学習者に自己紹介をしたことがあるか、その時うまく出来たか聞く。
例) 職場で 家の近所で e t c .
2. 学習者2人1組になりお互いに自己紹介する。(職場で 家の近所で)
そのあとお互いに聞きたいことを質問する。内容をワークシートに書いてみる。
<ワークシート①>
3. 代表ペアに発表してもらう。
4. プリントで自己紹介の会話例を確認してその場にふさわしい自己紹介の仕方を学び実行出来るようにする。<ワークシート②>
5. 次に3人1組になり1人がお互い初対面の他の2人を紹介する。
<ワークシート①>
6. 代表グループに発表してもらう。
7. プリントで1人がお互い初対面の他の2人を紹介する会話例を確認して実行出来るようにする。
<ワークシート②>

<ワークシート①>

（しよくば しょうかい）
【職場での自己紹介】

（いえ きんじょ じ しょうかい）
【家の近所での自己紹介】

（ひと べつ ひと しょうかい）
【人を別の人に紹介する】

（あなたはAさんです。Bさんはあなたの友人で今日から一緒に同じ職場で働きます。
Bさんを職場の店長Cさんに、CさんをBさんに紹介して下さい。）

<ワークシート②>

【職場での自己紹介 例】

A：今日からお世話になりますAと申します。（＊１）よろしくお願いします。

B：Bと申します。こちらこそよろしくお願いします。

Aさんはいつ日本にいらっしゃったんですか。

A：1年前です。

B：日本語がとても上手ですね。どちらで勉強したんですか。

A：ミャンマーで勉強しました。

B：そうですか。どの位の期間勉強したのですか。

A：2年間です。でもわからないことがたくさんあるので心配です。

B：だいじょうぶですよ。何かわからないことがあったら何でも聞いて下さい。

A：ありがとうございます。

（＊１）「～と申します。」は相手が自分の名前を知らない時（初めて会った時）に

使う。そうでない場合は「～でございます。」を使う。

【家の近所での自己紹介 例】

A：こんにちは。先週近所に引っ越してきたAと申します。よろしくお願いします。

B：Bと申します。よろしくお願いします。

Aさんはどちらの国^{くに}からいらっしゃったんですか。

A：ミャンマーです。

B：そうですか。私^{わたし}はミャンマーに行^いったことがないけれどどんな国^{くに}ですか。

A：とても良い国^{くに}です。

B：食べ物^{たもの}はおいしいですか。

A：とてもおいしいです。

B：そうですか。是非^{ぜひ}1度^ど行ってみたいです。

A：今度^{こんど}ミャンマーの写真^{しやしん}を持^もってきます。それから料理^{りょうり}も作^{つく}ってきます。

B：ありがとうございます。楽し^{たの}みにしています。

【人^{ひと}を別^{べつ}の人^{ひと}に紹^{しょう}介^{かい}する例

(あなたはAさんです。Bさんはあなた^{あなた}の友人^{ゆうじん}で今日^{きょう}から一緒^{いっしょ}に同じ職場^{おなしょくば}で働^{はたら}きます。

Bさん^{さん}を職場^{しょくば}の店長^{てんちょう}Cさん^{さん}に、Cさん^{さん}をBさん^{さん}に紹^{しょう}介^{かい}して下^{くだ}さい。)

A：(Cに) こちらは今日^{きょう}から一緒^{いっしょ}に働^{はたら}く私^{わたし}の友人^{ゆうじん}のBさん^{さん}です。

(Bに) こちらは店長^{てんちょう}のCさん^{さん}です。(＊2)

B：はじめまして。Bです。よろしくお願^{ねが}いします。

C：店長^{てんちょう}のCです。よろしくお願^{ねが}いします。頑^{がん}張^ばって下^{くだ}さい。

(＊2) 先^{さき}に目上^{めうえ}の人^{ひと}、遠^{とお}い関係^{かんけい}の人^{ひと}(店長^{てんちょう})に目下^{めした}の人^{ひと}、近^{ちか}い関係^{かんけい}の人^{ひと}(友人^{ゆうじん})

を紹^{しょう}介^{かい}します。